



2008年12月 1日

(社)デジタル放送推進協会(Dpa)

2008年度 デジタル放送普及促進キャンペーン

「“地デジ準備”全国キャラバン&受信説明会」事業 中間報告

社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)では、「現在のアナログテレビ放送が3年後の2011年7月24日までに終了しデジタル放送に完全移行する」ということをすべての視聴者にお知らせし適切に対応していただけますよう周知広報活動を展開しております。その一環として、デジタル放送を見るには何を準備すればいいのか? マンションではどうすればいいのか? 実際の費用はどのくらいかかるのか? など視聴者の方々の個別具体的な疑問に丁寧にお答えしつつ、デジタル放送の魅力、便利な機能なども体感して準備に取り掛かっていただくよう呼びかけるために、“地デジ準備”全国キャラバン&受信説明会事業を、総務省とDpaの主催で、(社)日本民間放送連盟、日本放送協会、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の特別協賛、(社)日本ケーブルテレビ連盟、(社)日本CATV技術協会の協賛のもと、展開しています。

4トントラックのキャラバンカーには、デジタルハイビジョンテレビ、ハイビジョン録画機器、デジタル放送対応パソコン、ワンセグ対応携帯電話、UHF受信アンテナなどが積み込まれていて、デジタル放送の高画質、高音質、そしてデータ放送、電子番組ガイド(EPG)などの便利な機能を実際に体感していただくことができます。またキャラバンカーは、荷台がステージにもなり、その地域の地デジ推進大使が出演してデジタル放送に関するプレゼンテーションを繰り広げています。

一方、デジタル受信機器を搭載したワンボックスカーも準備し、関東・近畿を中心に、“地デジ準備”受信説明会を開催し、UHFアンテナの必要性、マンションなど集合住宅にお住まいの方の準備の進め方、共同受信施設の対策など具体的なアドバイスを提供しています。

いずれも、総務省地デジコールセンター、地域の総合通信局、放送局、ケーブルテレビ連盟、CATV技術協会、総務省テレビ受信者支援センターなどのご協力を得て、地域ごとの細かな受信方法などの相談にも応じています。

12月1日現在の実施概要を別紙にまとめましたので、報道関係者におかれましても、いろいろなメディアで紹介していただきますようご協力ご支援をお願いいたします。

“地デジ準備”全国キャラバン&受信説明会の実施概要

1. 事業名：“地デジ準備”全国キャラバン&受信説明会

主 催：総務省、(社)デジタル放送推進協会 [D p a]

特別協賛：(社)日本民間放送連盟、日本放送協会 [N H K]

(社)電子情報技術産業協会 [J E I T A]

協 賛：(社)日本ケーブルテレビ連盟、(社)日本C A T V技術協会

2. 目的

“地デジ準備”のプロモーション

我が家で地デジを見るにはどうすればいいの？ 費用はどれくらいかかるの？
UHFアンテナは必要なの？ マンションの場合はどうすればいいの？など、
視聴者の個別具体的な疑問に答えつつ、地デジの準備を呼びかけています。

地域ごとのきめ細かな受信相談対応

地域ごとのきめ細かな情報を提供するとともに、その地域の視聴者の方が具体的に知りたいことにも答える「“地デジ準備”受信説明会」を開催しています。

3. 実施概要

a. “地デジ準備”全国キャラバン

- ・4トンのキャラバン車を使用した事業(12/1で終了予定)は、今年6月～12月1日まで、22都府県で28回開催。
- ・キャラバン車を使用しないで実施した事業は、11道県で21回開催。
- ・昨年と今年の2年間で、47都道府県すべてで実施したことになります。
- ・今年の体感者数は、26,600人あまり。
- ・アンケート回収数は、7,100枚あまり。

b. 関東地域の受信説明会

- ・12月1日現在で、77回開催。受講者相談者数は、5,200名あまり。

c. 近畿地域の受信説明会

- ・12月1日現在で、51回開催。受講者相談者数は、2,700名あまり。